

令和5年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

令和5年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.2%					○
算数	62.5%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2%			○		
情報の扱い方に関する事項	63.4%					○
話すこと・聞くこと	72.6%					○
書くこと	26.7%					○
読むこと	71.2%					○

【考 察】

- 4領域で全国平均を上回りました。特に「読むこと」の領域において、「文章を読んで理解したことを基に自分の考えをまとめる」問題と「中心となる語や文を見付けて要約する」問題の正答率が高く、授業で行っている、教材文を読み、分かったことや感じたこと、考えたことを文章に表し、友達と発表し合う活動が読む力の定着につながったと考えられます。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域では、全国平均とほぼ同じ正答率でした。特に、「意外・以外」など同じ読み方をする熟語の書き取りや敬語の使い方に課題が見られました。今後は、授業だけでなく日常生活の中で、漢字の意味を踏まえた熟語の指導や正しい敬語を使った話し方について指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	67.3%					○
図 形	48.2%					○
変化と関係	70.9%					○
データの活用	65.5%					○

【考 察】

- 全ての領域で、全国平均を上回りました。「数と計算」の領域では、論理的な思考力を見る記述式の問題で高い正答率となりました。授業の中で、自分の考えを図や式で表し、友達に伝える活動を意図的に取り入れたことが論理的な思考力の育成につながったと考えられます。
- 「図形」の領域では、正三角形を作る際の角度を求める問題において、正三角形の1つの角が60度であることは理解できていましたが、「二つ折り」にして作成する条件がついており、誤答になるケースが見られました。今後は、問題場면을具体的にイメージできるよう、具体的な操作活動なども取り入れながら指導をしていきます。

令和5年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		よく している	ときどき している	あまり していない	全く していない
小	全 国	28.7	42.0	22.1	7.1
6	五箇小	66.7	33.3	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 全ての児童が肯定的な回答をしました。学校では、自己マネジメント能力の育成を目指し、「課題に取り組む時間や内容を自分で決定する」という体験を大切に指導してきました。また、教師は、児童とコミュニケーションを密にとり、一人一人の学習課題を把握することで、家庭学習の内容や分量に配慮した指導を行っています。さらに、タブレットを活用したまとめ学習や課題の提出・即時丸付け、解説等の対応をすることで、児童の学習意欲も高まっています。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6
6	五箇小	0.0	8.3	66.7	16.7	8.3	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校が目標としている「学年×10+10分」（6学年では70分）をすべての児童が達成できるよう、自主学習の仕方やノートの使い方等を指導しています。また、学習時間が目標に達していない児童にも定期的に声をかけ、家庭でも学習をする習慣を身に付けることができるように指導しています。
- 自分の興味・関心を広げるために調べ学習を進めたり、調べたことを相手意識をもちながらまとめたりできるように、タブレット端末を効果的に用いながら、より質の高い自主学習ができるように指導していきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小 6	全 国	7. 6	10. 9	18. 8	22. 7	15. 4	24. 5
	五箇小	8. 3	0. 0	50. 0	8. 3	25. 0	8. 3

(単位 %)

【考 察】

- 全学年が「1年間で50冊読破」を目標に、朝の「読書タイム」（15分）や休み時間、空き時間等に読書をするよう呼びかけています。毎日継続して読み、本に触れる習慣が身に付けられるよう今後も指導していきます。
- 高学年では、物語だけでなく、歴史や社会科学、芸術、言語等、様々な種類の本に触れ、知見を広げられるよう声をかけています。今後も様々な種類の本に触れる中で、読書の楽しさが味わえるよう指導していきます。

4 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまら ない	話し合う活動をお こなっていない
小 6	全 国	38. 6	43. 2	13. 8	3. 4	0. 9
	五箇小	41. 7	50. 0	8. 3	0. 0	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、自分の考えを伝えたり、相手の考えを受け入れ、自分の考えを再構築したりすることに重点を置いて指導しています。教師が児童の発言をコーディネートすることで話し合いの仕方を児童が身に付けられるようにしてきました。また、教師間で情報を共有したり定期的に研修を行ったりすることで、学校全体で充実した話し合い活動ができるよう努めています。さらに、安心して自分の考えを発表できるように、学級の雰囲気づくりにも力を入れています。教師は児童の誤答を大切に授業を行うことで、「間違っても大丈夫。みんながフォローしてくれる。」という雰囲気づくりを低学年から行っています。
- 委員会活動や学級活動においても、児童同士で話し合いながら物事を決定し、進めていく場面が見られるようになりました。今後も継続して話し合う力を高める指導をしていきます。